

「当院の自己血採血に伴うリスクの現状と安全への取り組みの検討」のお願いとお知らせ

貯血式自己血輸血は、緊急を要さない手術を受ける患者さんが手術前に自分の血液を採血保存しておき手術の際に使用できるよう備えておく輸血方法です。自己血輸血は、同種血輸血（献血による輸血）に伴う輸血後感染症（肝炎や HIV など）や GVHD（移植片対宿主病）などの重篤な副作用を回避できるため、国内では自己血輸血の実施件数が増えています。ただ、自己血採血には VVR（血管迷走神経反射）という血圧低下と気分不快を伴う副作用や血管損傷などの合併症を伴う危険もあります。

当院では年間のべ約 400 件の自己血採血が行われており、その中で数例の患者さんに VVR や血管損傷などの発生がみられます。そこで私たちは H24 年 9 月より安全な自己血採血のために医師・検査技師・看護師の協働でパンフレットや DVD を用いた患者説明、医師・看護師の手順の見直しなどの改善に取り組んできました。

これまでの取り組みの効果や VVR などの合併症の発生状況とその要因を分析し、さらなる改善に活かすことを本調査の目的とします。H24.4.1～H25.3.31 の間に当院外来で自己血採血を実施した患者さんを対象に VVR 発症の有無、採血前のヘモグロビン値、採血前後のバイタルサイン（体温、血圧、脈拍など）、採血前後の症状などを電子カルテ内からデータ収集します。また、本調査によって得られた結果は院外の学会等で発表の予定です。

患者さんのデータは ID などの個人情報とは関係ない番号付与によって匿名化された状態で管理され、プライバシーが保護されます。また、この期間に外来で自己血採血を実施した患者さん（または親族の方）で、ご自分のデータを本調査に使用しないしてほしいというご希望がありましたら下記までご連絡いただけますようお願いいたします。

なお、調査へのデータ使用の拒否を表明されても防衛医科大学校病院における診療には全く何の影響もなく、いかなる意思におう手も不利益をこうむることはありません。

連絡先：防衛医科大学校病院 看護部 （外来）

秋野 睦美

TEL : 04-2995-1511 (内線 3080)